

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 名古屋市立有松小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒458-0924
名古屋市緑区有松2803番地

E-mail arimatsu-e@nagoya-c.ed.jp
Website http://www.arimatsu-e.nagoya-c.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 396名 女子 375名 合計 771名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

当校は、平成25年度より、ユネスコスクールとして、ESDを「暮らす」の観点から捉え、地域との関わりをさらに深めるために、4つの活動に重点を置いて実践に取り組んだ。

4つの活動とは、①伝統的な産業に触れる活動、②旧東海道の古い町並みに触れる活動、③郷土に伝わる文化に触れる活動、④行事等を関連付けた活動です。

これらの活動を通して、自分たちが住む、町の文化や人とのつながりを深めようと考えた。

- ① 伝統的な産業に触れる活動では、主に有松絞りに関する学習をした。この活動を通して、有松絞りの伝統的な良さや歴史的な重みに気付かせるようにした。
- ② 旧東海道の古い町並みに触れる活動では、主に江戸時代から残る貴重な建物に関する学習をした。これらの活動を通して、地域のよさに気付かせるようにした。
- ③ 郷土に伝わる文化に触れる活動では、まつりや学区に残る山車、おはやしに関する学習をした。これらの活動を通して、地域の文化や伝統への理解を深められるようにした。
- ④ 行事等を関連づけた活動では、運動会や作品展で活動の成果を発表したり、披露したりした。これらのことで、地域への誇りと愛着を、保護者や地域の方とともに育めるようにした。

以上のように、地域との連携を大切にした取り組みをすることができました。今後も町の文化や人とのつながりを深め、暮らしていける子どもを育てていきたいと考えている。

① 伝統的な産業に触れる活動の様子



② 旧東海道の古い町並みに触れる活動の様子



③ 郷土に伝わる文化に触れる活動



④ 行事等に関連づけた活動



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

有松の庄九郎 新日本出版社 有松・鳴海絞パンフレット 有松・鳴海絞会館ウェブサイト など
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

低学年は生活科、中・高学年は、総合的な学習に活動を位置づけ、積極的に地域に出向いたり、地域の方をお招きしたりして学ぶ機会を設けている。

1年生は、「いろみずあそび」で、染めの簡単な活動を行う。

2年生は、「まちたんけん」で、山車会館での見学と体験を含めた活動を行う。

3年生は、社会科の学習と関連付けた総合的な学習「まち並み歩き」において、地域の観光ボランティア「あないびと」と共に、古い商家の立ち並ぶ地域を見学する。

4年生は、本格的な染めの活動「Tシャツ絞り体験」を行う。

5年生は、行事の中で、絞りの作品を用いたり、地域にまつわる話を取り入れたりする活動を行う。

6年生は、道徳指導と関連付け、地域の歴史と、まちの発展に尽力してきた人々の工夫や協力体制について学ぶ。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

生活科と総合的な学習の教育課程に位置づけることで、学校全体で計画的に取り組めるようにしている。また、国語や社会などの教科と関連付けることで、確実に取り組める時間を確保し、無理なく推進できるようにしている。さらに、地域の方々にも予定をあらかじめ知らせておき、計画的に進められるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

児童・保護者に向けたアンケート調査を行った。地域の行事に積極的に参加しているかどうかの問いに対して、多くの児童や保護者が「参加している。」との回答をしていたが、昨年と比べると、数が減少していた。

高学年になるにつれ、人数が減る傾向にあるため、行事の前には、積極的に参加できるよう、呼びかけていく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

活動成果は、学校だよりや学年だより、また、地域の連絡協議会などで、保護者や地域に発信している。発信により、地域の方々との連携の体制がより強いものとなっている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

特に行っていません。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

特に行っていません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

児童（特に低学年）が、地域の良さを新たに発見したり、再発見したりして、地域を愛する気持ちをもつことができるようになってきている。
地域の祭りが行われるときには、児童が、積極的に絞りの製品を身に付ける様子が見られた。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

低学年は生活科、中・高学年は、総合的な学習に活動を位置づけ、積極的に地域に出向いたり、地域の方をお招きしたりして学ぶ機会を設ける。
1年生は、「いろみずあそび」で、染めの簡単な活動を行う。
2年生は、「まちたんけん」で、山車会館での見学と体験を含めた活動を行う。からくり人形の操作の体験も行う。
3年生は、社会科の学習と関連付けた総合的な学習「まち並み歩き」において、地域の観光ボランティア「あないびと」と共に、古い商家の立ち並ぶ地域を見学する。
4年生は、本格的な染めの活動「Tシャツ絞り体験」を行う。
5年生は、行事の中で、絞りの作品を用いたり、地域にまつわる話を取り入れたりする活動を行う。
6年生は、特別の教科 道徳の指導と関連付け、地域の歴史と、まちの発展に尽力してきた人々の工夫や協力体制について学ぶ機会を増やす。